

## 沖縄工業高等専門学校(専攻科)

### 対面による授業、特別研究を実施する場合の 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン (令和2年9月10日版)

#### 【学生が遵守すべき事項】

#### 1. 学生が遵守すべき基本的な事項

- 指導教員または監督教員が在籍している時間帯に登校し、また下校する。
- 登校前に検温し、体調をアプリ(Microsoft Forms)で報告する。
- 【「風邪症状等」がある場合の取扱い】  
37.5℃以上の発熱又は平熱より高い熱(+1.0℃が目安)、咳、体のだるさ、頭痛、風邪症状等がある場合は登校しない。登校は、上記症状が消失した日の翌日から3日経過後とする。
- 学校生活における「新しい生活様式」ハンドブックを遵守する。
- 登校許可時間帯(平日8時30分から18時)を遵守する。
- 当面、土・日・祝祭日は登校しない。
- 創造実践棟には指導教員または監督教員の立会いの下で入る。
- 体温と体調に問題ないと報告済みであることを、登校後すぐに担当教員にスマートフォン等で提示する。(体温情報は、登校可否の判断にのみ使用します)
- 校内では必ずマスクを着用する。
- 校内でもこまめに手洗い、手指消毒を行う。
- 教員の研究室には立ち入らない。
- 居室(卒研スペース、専攻科スペース)や実験・実習・演習室では3密(「密集」「密閉」「密接」)を徹底して避ける。
- 居室(卒研スペース、専攻科スペース)や実験・実習・演習室において、近距離での会話をしない。
- 居室(卒研スペース、専攻科スペース)において、食事の際は向かい合わず、会話をしない。
- 登校後に発熱や咳、体のだるさ、頭痛、風邪症状等が出た場合は、指導教員に報告のうえ直ちに下校し、自宅で静養する。(必要に応じて病院で診察を受ける。)

#### 2. 授業における感染拡大予防策

- 教室に入る前に手洗い、手指消毒を行う。
- マスク着用、2 m程度(最低1m)は間隔をあける。
- 対角線上の窓および扉を開けて、サーキュレータで換気する。
- 授業を実施する教室(場所)については、科目担当教員の指示に従う。
- 携帯電話等、授業に必要なものは教室に持ち込まない。
- 使用した机や椅子等を消毒する。

### 3. 特別研究活動等における感染拡大予防策

- マスク着用、2 m 程度(最低1m)は間隔をあける。
- 実験や施設を利用する場合は、必ず、事前に指導教員に実験内容等を説明し、許可を受ける。
- 実験・実習・演習室等の対角線上の窓および扉を開けてサーキュレータを用いる等、換気を行う。
- 実験・実習・演習室及びその設備の利用は最低限に留め、データ解析等は在宅で行う。
- 実験器具等を使用する場合は、使用する前と後に手洗い、手指消毒を徹底する。
- 実験・実習・演習室及びその設備の利用スケジュールを確認し、利用時間の重複や待ち時間を作らない。
- 指導教員の指示のもと、使用した実験・実習室、共用の実験器具等の消毒に協力する。
- オンラインの活用にあたっては、情報セキュリティ対策に留意する。
- 目安として、特別研究は一日当たり4コマ(45分×4コマ)とする。

### 4. その他の感染拡大予防策

- 公共交通機関で登校する場合は、可能な限り混雑する時間帯を避ける。
- 自宅等では「新しい生活様式」(厚生労働省)を実践する。

### 5. コースごとの感染拡大予防策 (電子通信システム工学コース)

- 消毒の際に使用したもの(手袋やペーパータオル等)は、必ず“指定のごみ箱”に廃棄すること。
- 消毒後の“指定のごみ箱”の汚物が溜まっている場合には、教員に連絡すること。
- 「電波暗室」は密閉空間となるので、使用する際には、必ず教員の指示に従うこと。

以上